# 丸山湿原群保全の会会報

（第 116 号）

発行日：平成 29 年３月 16 日　編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211　宝塚市大原野字炭屋 1-1　西谷地区まちづくり協議会事務局内
TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061（今住（いまずみ））
E-mail：maruyamashitugengun@gmail.com

３月に入って暖かくなるかと思いきや、本日朝は雪模様。お水取りの時期に寒の戻りがあるといいますが、その通りと言えばその通り。しかし今年は、西日本の雪は多かったものの全国的には雪不足。早々とスキー場が閉鎖されたとのニュースも流れていました。

やはり温暖化による気候変動でしょう。毎回同じようなことを書いております。

ともあれ、いよいよ春。丸山湿原も間もなくにぎやかな季節を迎えます。活動にご参加を。

（今住　３月 15 日作成）

## 丸山湿原セミナー報告

### ★2 月 26 日（日）丸山湿原エコミュージアム推進協議会主催　両生類セミナー

**10 年連続で行っているセミナーです。**これまでは講師の田口先生の都合がつかず、平日での開催でした。今回は調整していただき、日曜日に開催することができました。

広島から来ていただいている田口先生

熱心に聞き入る参加者

田口先生は、三田「人博」勤務後、広島の安佐動物公園に勤務。また、朝来の「ハンザキ研究所」の理事・研究員として活躍。動物園でも担当の動物の他に、オオサンショウウオの研究・繁殖に尽力されています。現在オオサンショウウオ研究で世界的に評価されている方です。関連して、両生類全般の研究も熱心にされています。

姿を現したニホンアカガエル

午前の講義・午後の調査と長時間のセミナーにもかかわらず、**23 名の参加があり、ほとんどの方が１日通して参加されました。**

両生類卵　捜索中

卵のうとナガレホトケドジョウ発見

午前の講義は、両生類の現状（危機的状況）と丸山湿原の状況を含めたお話があり、午後の調査の説明へと続きました。質問も多数出て非常に有意義な時間となりました。午後は調査。**一昨年は「両生類の卵を発見できず」という事態。心配した昨年は確認できたものの、今年がどのような状況かが非常に重要とのことでした。**

**結果、カスミサンショウウオ卵のう･･･２０対　ニホンアカガエル卵塊･･･１６個　首の切れたカスミサンショウウオ死骸･･･１匹　ニホンアカガエル成体･･･１匹　おまけに、両生類ではありませんが、ナガレホトケドジョウ（未同定 RDB 絶滅危惧ＩＢ類）が１匹見つかりまし**

た。初めて見るドジョウにびっくりです。（たまたま「丹波地域のホトケドジョウを守る会」の方が参加されていたの発見できました。）

6 対つながったカスミサンショウウオの卵のう

結果から、一応両生類にとっては良好な環境が維持されているとのことでした。今後も乾燥化を何とか食い止め、湿原をどう維持していくかがテーマです。

今回で田口先生のセミナーは最後と考えていたのですが、10年のデータ蓄積をさらに発展させるように、今後もお願いすることになりました。先生も快諾され来年も開催の予定です。できるだけ土・日に日程を組めるよう調整を図っていきます。

## 受賞報告

### ★畑崎記念ファッショナブルエージング賞受賞　神戸新聞に掲載されました

2017年(平成29年)3月1日　水曜日

畑崎賞、5人と1団体表彰　神戸

神戸新聞

アパレルメーカー「ワールド」創業者、畑崎廣敏さんが設立した「畑崎財団」より「**畑崎記念ファッショナブルエージング賞**」をいただきました。この賞は、年齢を重ねても健康で充実した生き方をし、地域密着の活動している個人・団体に贈られるものです。**保全の会は、「知的活動分野」で受賞。長年のセミナー開催、調査、保全活動・研究が評価されたものです。県の方から推薦をいただいていたようです。前代表、岸さんを中心とした会発足時からの10年間にわたる活動に対するご褒美と考えております。**

**多額の副賞もあり、今後使い方も提案していきたいと思います。**授賞式には、岩崎・水田副代表に出席していただきました。

受賞風景

## 第４回　西谷小学校３年生環境学習　３月７日（火）最終回　報告

１回目の座学に始まり、夏・秋・冬と計４回にわたる環境学習を行いました。今年度は、設定した日が天候不順で何度も変更。学校もこちらのスタッフも調整に苦労したようですが、何とか全予定を実施できました。お世話いただいた皆さん大変ご苦労様でした。以下報告文を掲載いたします。

### 西谷小学校３年生環境学習

３月７日(火)９時半から１１時半

熱心に草運び・保全活動体験

今年度第４回目(最終回)の環境学習は丸山湿原の第１湿原で行いました。本会からは、岩崎会員、辰巳会員、水田会員の３名が担当しました。参加者は、生徒１４名、先生他３名です(途中、校長先生参加)。先日から森林組合の作業で樹木伐採と下草刈りが行われており、生徒たちには主に、刈られたススキやササ類を一段上の林道脇付近まで運ぶ作業をしてもらいました。また、力持ちの生徒は伐採された樹木を湿原の上部に運びました。正味の作業は１時間程で、途中休憩時間を兼ね

保全作業の重要性について説明を行いました。

作業終了後は湿地内の水溜まりへ移動し、カスミサンショウウオの卵のうを観察しました。卵のうを手ですくい、中にいる当該サンショウウオの幼体を参加者全員に見てもらいました。手で直に触って見たいと言う生徒もおり、卵のうを順番に直に触ってもらいました。フニャフニャしている、ヌルヌルしている、気持ち悪い、幼体を見て可愛いと言うなどいろんな意見が飛びかいました。

自然観察中

道中では、時期的に花や虫類は見られず、オオカマキリの卵塊、クスサンの繭(スカシダワラ)やヤママユの繭の抜け殻、１番大きい落ち葉のホオノキ、トゲトゲのネズミサシ、松ぼっくりでは、アカマツ、スギ、ヒメヤシャブシの球果を拾いました。朽ち木に生えるカラワタケ(３種類)も観察。最後の方に、ヤブツバキの赤い花が２輪開花していたのが参加者の目を引きました。

今回の学習会は天候の関係で２回中止になりました。当日は、作業中に一時、小雪舞う寒い日でしたが、けが人もなく無事終了することができました。来年度も新３年生の環境学習を丸山湿原で行いたい旨、校長先生から申し出がありました。

## 活動報告

### ★3 月 11 日（土）定期活動

７名で活動（一般参加2名を含む）。定期基礎調査、巡回、ごみ回収、観察、外来種除去

| 目的 | 市内 | 市外 |
|---|---|---|
| 丸山 | 37 | 28 |
| ハイキング | 0 | 5 |
| その他 | 3 | 0 |

**来場者数　　計 73 人**

**（竹筒ポスト人数）**

| 場所 | 時間 | 気温【水温】 | 電気伝導度 |
|---|---|---|---|
| 入口 | 10：05 | 8.2℃ | |
| 視点場 | 10：44 | 8℃ | |
| 第３湿原 | 10：30 | 【7.3℃】 | 25μS/cm |
| 第１湿原 | 10：51 | 【7.5℃】 | 24μS/cm |
| 第２湿原 | 11：14 | 【8.0℃】 | 25μS/cm |

環境学習の報告にもありましたが、県からの委託で森林組合による湿原草刈りや、周辺林再萌芽の除伐が行われ、大変すっきりした姿になりました。乾燥化の進行は否めませんが枯草の処理だけでもかなりの効果があると思われます。我々も今後、より積極的に作業参加しましょう。

刈り取りされた第１湿原

新設された第４湿原へ向かう橋

新設された第４湿原観察台

**また、第４湿原に観察台が設置されました。**これまで踏み込みが多かった場所です。観察台の設置で、踏み込みが少なくなることを願います。また間近に草花・昆虫の観察が出来ればいいのですが、これは１年経過しないと確認はできません。うまく行けばいいのですが。

次回活動日３月 26 日（日）４月８日（土）23 日（日）